学校番号	４１１

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版国語総合「現代文編」「古典編」改訂版　（東京書籍）						
副教材等	基礎から解釈へ新しい古典文法（四訂新版）（桐原書店）/基礎から解釈へ新しい古典文法（四訂新版）演習ノート（桐原書店）/新明説漢文（尚文出版）/新明説漢文ノート（尚文出版）/基礎現代文３ステップオリジナル問題集１+（尚文出版）/読解を深める現代文単語（桐原書店）/重要頻出漢字リアルマスター3300（尚文出版）/入試田一作ベストセレクション古文単語３２５（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させ、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・現代文は授業ではもちろん、自宅でも小説や新書など、興味に応じて様々なジャンルの文章を読み、想像力や発想力を育てましょう。
・古典の時間では、有名な作品に親しむとともに正しく心情などを理解するために語彙力や助動詞などの文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・授業のあとでノートや教科書を見返し、内容を振り返って復習してください。学習した中でより知りたい内容があれば、図書館等で調べたり、教師に質問したりして自分の世界を広げましょう。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心をもち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	自分の考えを相手や目的、意図に応じて適切に書いている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読み、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 ワークシート、ノートなどの記述の点検	発表時などの行動の観察	記述の確認、およびワークシート、定期テストなどによる分析	行動の観察 記述の確認 定期考査・ワークシートの分析	行動の観察 記述の確認 定期考査・ワークシートの分析

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期中間	評論の内容を理解する	現代文 評論 〈顔〉という現象	○			◎		a:筆者のものの見方や考え方を読み取り、「他者」とのコミュニケーションに関心を持つ d:論理の展開をつかみ、「記号」としての「顔」とはどのようなものかを文章から読み取る。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析
一学期中間	小説の内容を理解する	現代文 小説 「羅生門」芥川龍之介	○			◎	○	a:近代小説の名作に親しみ、場面や登場人物の心情の変化を表現に即して読み味わう。 d:下人の心情の変化と、それがわかる情景描写が読み取れる。 e:文章中の建造物や衣服などについて知識を深める。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 e:ノート点検 定期テスト
一学期中間	古文入門	古文の基礎 動詞の活用、用言、形容詞、 形容動詞、音便について	◎			○	○	a:古典を学ぶ意義を理解する。 d:昔の言葉と現代の言葉の違いを理解し、的確に内容を読み取れる。 e:古典文法について知識を深める。	a:授業内での観察 d:ノート点検 定期テスト ワークシートの分析 e:定期テスト
一学期中間	古文入門・漢文入門	古文 宇治拾遺物語 「絵仏師良秀」 漢文 訓読のしかた	○			◎		a:古文や漢文に親しみ、的確に内容を読み取れる。 d:古語辞典の利用法を知る。 わかりやすい説話を読み解き、その面白さを理解する。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析
一学期期末	評論の内容を理解する	現代文 評論 「広告の形而上学」 岩井克人	○			◎		a:筆者のものの見方や考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方と比較し、違いや同じところに気付く。 d:論理の展開をつかみ、資本主義社会における広告の役割と，広告の生み出す「過剰な」差異について読み取っている。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期期末	評論の型	詩 「自分の感受性くらい」 茨木のり子	○			◎	○	a:詩・短歌・俳句に親しむ d:それぞれの形式や表現の特色を理解し、作品にうたわれている情景や心情を表現に即して読み味わう。 e:詩や短歌。俳句の表現形式や修辞を理解する。	a:授業内での観察 d:授業内ワーク d:定期テスト
一学期期末	古典入門	古文 『十訓抄』 「大江山の歌」	○			◎	○	a:古典を学ぶ意義やその方法を理解する。 d:登場人物の性格や心情を記述から読み取る。 e: 平安時代の文化や衣服などについて知識を深める。	a ノート点検 定期テスト d ワークシートの分析 e:定期テスト
一学期期末	物語文学	古文 伊勢物語 「芥川」	○			◎	○	a:古典を学ぶ意義やその方法を理解する。 d:主人公の心情を考えながら読む。 e:文章中の和歌の役割について理解し、古人の恋愛の過程や結婚制度についての理解と認識を深める。	a ノート点検 定期テスト d ワークシートの分析 e:定期テスト
一学期期末	古文入門・漢文入門	古文 助動詞(半分程度) 漢文 返読文字・再読文字	◎				○	a:古典の物語を読むための文法に興味を持つ。 e:古典文法を理解し、問題演習などを通して使いこなせるようになる。	a:授業内での観察 e:ノート点検 定期テスト ワークシートの分析
二学期中間	随筆	現代文 評論　随筆 「おもしろい」と「わかる」 中村雄二郎	○			◎		a:「おもしろい」と「わかる」について身近な事例を探し、意見交流する。 d:論理の展開をつかみ、筆者の伝えたいことはどの段落にあるのか、本文にどのような技巧が用いられているのかを読み解く。	a:授業内での観察 d:ノート点検 定期テスト ワークシートの分析

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
二学期中間	小説	現代文 小説 「鏡」村上春樹	◎		○			a: 自分という存在について，特有の語り口で書かれた小説を読み，「鏡」が持つ意味について考える c:作品の内容を自分なりにまとめ、他人に伝えることが出来る。	a:授業内での観察 c:定期テスト ワークシートの分析 d:ノート点検 定期テスト
二学期中間	漢文入門	漢文入門 訓読の仕方 故事成語	◎				○	a: 格言を繰り返し音読して、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。 e: 漢文を学ぶ意義を理解し、訓読の決まりを用いて学習する。	a:授業内での観察 e:ノート点検 定期テスト
二学期中間	古典文法	古文 古典文法 助動詞	◎				○	a:古典の物語を読むための文法に興味を持つ。 e:古典文法を理解し、問題演習などを通して使いこなせるようになる。	a:授業内での観察 e:ノート点検 定期テスト
二学期中間	物語文学	古文 伊勢物語 「筒井筒」	○			◎	○	a:伊勢物語の世界観や本文中の女への思いを理解する。 d:物語の文章表現の特色を読み取り、文章表現の特色について理解する。 e: 平安時代の文化や儀式などについて知識を深める。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 e:定期テスト
二学期期末	評論	現代文 評論 「言葉は「ものの名前」ではない」内田樹	○	○			◎	a:筆者の主張を読み取り言語と認識の関係について，具体例をもとに主張している評論を読み，言葉の働きについて考える。、の違いを読み味わう。 b:筆者のものの見方や考え方を読み取り自分の考えを深め、伝え合う。 e:文章の構成や文章につかわれている技巧を理解する。	a,b:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 e:ノート点検 定期テスト

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
二学期末	小説	現代文 小説 「富岳百景」 太宰治	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを表現に即して、どう設定されていて、なぜそのように書かれているか主体的に考えようとしている。 d:登場人物の心理状況、作品の構成・展開を正しく捉え、小説の面白さを味わい、「芸術」や「人の心の交流」について考えを深める。 e:基礎的な語彙と文章に即した慣用句などに触れ、文章表現に生かすことができる。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 e:ノート点検 定期テスト
二学期末	随筆	古文 枕草子 「ありがたきもの」	○			◎	○	a:平安時代の貴族たちの考え方を理解する。 d:平安貴族の生活やその世界観を理解し、作品を鑑賞する。 e:女流文学が栄えた理由について理解を深める。	a:授業内での観察 d:定期テスト・ワークシートの分析 e:ワークシート・定期テスト
二学期末	漢文 寓話	漢文 「朝三暮四」 「塞翁が馬」	○			○	◎	a:唐代の詩文を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。 d:漢文の口調に慣れ、内容に親しむ e:故事成語の世界観にふれ、中国と日本の文化の伝播について理解する。	a:授業内での観察 d:ノート点検・発問 e:ノート点検 定期テスト
二学期末	日記文学	土佐日記 「馬のはなむけ」	○			◎	○	a:平安時代の生活について考え、自分たちと比較する。 d:筆者の気持ちや想いなどを文中の単語や敬語などから読み解く。 e:日記と日記文学の違いを理解し、仮名文字がこの後の文学界にもたらしたものの意義を理解する。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 d:ワークシート、定期テスト

三学期	評論	現代文 評論 〈私〉時代のデモクラシー　宇野重規	○			◎		a:私〉が尊重される現代社会におけるデモクラシーが抱える課題を理解し，視野を広げる。 d:引用事例や論理の展開に着目し、筆者の主張を正確に読み解く。	a:授業内での観察 d:ノート点検・発問 e:ノート点検 定期テスト
三学期	古典文法	古文 助動詞 敬語	○			○	◎	a:敬語の種類や見分け方に積極的に取り組み、問題演習に生かす。 d:文中に書かれた敬語から主語を読み解いたりする。 e: 古典文法を理解し、問題演習などを通して使いこなせるようになる。	a:授業内での観察 d:定期テスト e:ノート点検 定期テスト
三学期	和歌の修辞	古文 和歌の修辞 「万葉集」「古今和歌集」「古今集」などから数首	○			◎	○	a:言葉の成り立ちや変遷について考えを深め、わが国の伝統的な言語文化への興味・関心を持つ。 d:和歌の発想や表現技法を理解しながら内容を考える。 e:和歌の修辞を理解する。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 e:ノート点検 定期テスト
三学期	物語文学	古文 平家物語 「木曾の最期」	○			◎	○	a:歴史的背景を踏まえて軍記物語の世界を読み味わう。 d:語り物のリズム感を味わいつつ、内容と登場人物の心情や価値観を理解する。 e:音便や敬語の用法に慣れ、助動詞の理解を深める。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 e:ノート点検 定期テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解